

北信濃里山通信 vol.9

2012年10月31日発行

お知らせ：ブログ・「北信濃里山通信」を開設しました。

事務局

北信濃各地の自然の情景、生きもの情報、季節の便りなど、インターネットを通じて発信するブログ・web版「北信濃里山通信」を開設しました。

URL（アドレス）：<http://iisatoyama.exblog.jp/> 以下、ブログトップです。



今のところ、井田会長が奥志賀高原の状況などを紹介していますが、今後は各地の情報を掲載していきたいと思えます。

そこで、ブログ運営にあたり、写真と共に「一言」を添えて提供していただくボランティアを募集しますので、会員の方々に協力いただける方は事務局まで御連絡ください。

また、前号でもお知らせしました当会のホームページ「Neake（根開け）」ですが、以下のようなデザインで、必要なコンテンツを整備しながら開設準備中です。

ホームページの内容等に関して御要望・御意見などありましたらお知らせください。



これからの会員間の情報共有ですが、効率化を進めるためホームページの他、電子メールも積極的に活用していきたいと思えます。当連絡紙の受け取りなど電子メールで要望される方は、事務局（E-mail：kouminkan@city.iiyama.nagano.jp）まで御連絡ください。

・オオルリシジミ生息地の環境整備について

秋も深まり、冬支度をする季節となりました。オオルリシジミ生息地の環境整備を、以下のとおり実施します。

日 時	平成24年11月10日（土）及び11月24日（土） 9:00～15:00
集合場所	9:00に飯山市公民館前とします。 途中から参加される場合は、現地へ直接お越しください。
作業内容	保護区域設営ロープ及び看板の撤去 刈り払いによる歩道の整備、灌木類の伐採作業による草原環境維持 クララの採種作業・・・など
その他	昼食は各自で用意いただき、作業に適した服装でお越しください。 雨天・積雪の場合は中止とします。 万一の傷害保険などは各自で対応をお願いします。

・戸狩スキー場におけるカヤ刈について

昨年も実施しましたが、（株）修景事業と提携して戸狩スキー場のカヤ（ススキ類）の刈り取りを実施します。古民家修復を目的とした茅葺屋根用のカヤ採取ですが、経済性（収入源の創出）を考慮した上でのオオルリシジミ生息地の草原環境維持を目指すものです。当地は、クララが自生し、オオルリシジミの生息地として適当かが検討されています。

御協力いただける方は、各自準備のうえ参加してください。

日 時	平成24年11月17日（土） 9:00～15:00
集合場所	9:00に戸狩スキー場「とん平」駐車場とします。 途中から参加される方は、駐車場正面上方のグレンデ脇で作業していますので、了解ください。
作業内容	カヤ類の刈り払い、刈り払ったカヤの運び出し、結束作業など
その他	昼食は各自で用意いただき、作業に適した服装でお越しください。 雨天の場合は中止とします。万一の傷害保険などは各自で対応をお願いします。

・「長野県環境保全研究所・平成24年度公開セミナー」の開催

「北信濃・いいやまの自然といのち ～その遺産を未来につなぐ～」をテーマに県環境保全研究所主催の公開セミナー（講演と意見交換会）が以下のとおり開催されます。井田会長と福本事務局長が講演し、本会の活動紹介なども行います。

日時：平成24年12月1日（土）13時～16時（開場12時）

場所：飯山市公民館（総合学習センター）講堂

講演内容

「飯山の森と里の命のにぎわい」：信州大学教育学部准教授 井田秀行本会会長

「ナベクラザゼンソウの不思議」：環境保全研究所自然環境部 大塚孝一さん

「オオルリシジミの保全活動」：北信濃の里山を保全活用する会 福本匡志事務局長

「多雪地の飯山と気候変化」：環境保全研究所自然環境部 浜田崇さん

申込不要、参加費無料ですので、会員以外の方にもお誘いして、お気軽に御参加ください。

セグロイナゴ

分類：バッタ目 イナゴ科

学名：*Shirakiacris shirakii*

レッドリスト：長野県・絶滅危惧Ⅰ類、環境省・未該当

【特徴（長野県版レッドデータブックより転記）】

体長は約30mm、全体に淡褐色であるが、前胸背が黒褐色で名前の由来ともなっている。イナゴの仲間であるが、体色などからバッタ類に似ている。南方系の種類。

【生息環境（長野県版レッドデータブックより転記）】

イネ科植物を含むやや丈の低い草原。

【絶滅危惧の要因等（長野県版レッドデータブックより転記）】

堤防の除草等の河川環境の変化。

【特記事項（長野県版レッドデータブックより転記）】

千曲川沿いの小布施町以北に分布する。



眼の縦縞が特徴的な頭部



セグロイナゴ・♂



セグロイナゴ・♀

（解説）

本年10月20日、飯山市瑞穂（菜の花公園近く）の千曲川河川敷で、本種の生息調査を行いました。

現地は畑とススキ類など草地が入り交じる環境で、十頭程度を確認しました。

数は少なくないものの、河川敷のどこでも見られるというものではなく、生息場所は局所的な感があります。観察時期としては、やや遅く、脚など損傷した個体も多かったです。

今後、近隣の木島平村を含めさらに調査を進めたいと思います

なお、この日は飯山市豊田（井田会長宅の近く）でオオオカメコオロギの探索を行いました。

本種も長野県版レッドリストで絶滅危惧Ⅰ類に区分され、バッタ類に詳しい小林正明先生（伊那谷自然友の会）によると、県内では当地でしか確認されていないとのこと。コオロギの鳴き声を聞きながら入念に草をかき分けて探すも、結局姿は確認できず……。来年は小林先生お招きして、本種の再探索とあわせて「秋の鳴く虫観察会」など企画できれば……。と思います。



セグロイナゴが見られた環境

・黒岩山保全活動・ワーキングホリデーの開催

9月22日（土）、黒岩山保全協議会と都会から訪れたボランティアの方々に森林整備協働作業を行うワーキングホリデーが開催されました。

ギフチョウの発生地其林床整備が行われ、整備後の林内は光が差し込んで明るくなりました。



整備作業の様子



整備後の林内

その結果、食草のカンアオイの生育がよくなり、蝶の飛翔空間の確保が見込まれます。作業にあたられたみなさま、おつかれさまでした。

・「環境保全に取り組む市民大集合」に参加

10月6日（土）に長野県環境保全研究所飯縄庁舎（長野市）において「環境保全に取り組む市民大集合2012」が開催され、事務局（福本）と会員の三井さんが参加しました。今回のテーマは「みんなで実行！！自然のモニタリング」・・・。

午前の部は日本自然保護協会の藤田卓さんを講師に迎え、「レッドデータブックの見方・使い方」と題した記念講演が行われました。午後の部では、「わたしたちの環境保全活動」として、4団体が活動発表し、当会からは「オオルリシジミの保全活動を巡って」と題し、今年のおオオルリシジミ観察会参加者によるモニタリング結果などを紹介しました。また、20余りの団体からポスター展示が行われ（当会も活動紹介を展示）、県内で自然保護活動する方々との交流ができました。なお、「茅野ミヤマシロチョウの会」からは、モニタリング調査の資料をいただきました。会長の福田さん、ありがとうございます。



活動紹介を展示しました

編集後記

事務局

飯山市産オオルリシジミ標本のインターネットオークション騒動については、9月14日付の信濃毎日新聞にも掲載され、当会でも今後の対応を考えさせられることになりました。結果的に標本出品はキャンセルされましたが、「採集規制前のものから得られた飼育品・・・」などと理由付けされ、個人の営利目的で取引されることは非常に残念でなりません。採集者対策は、他の保護組織でも課題になっていますので、連携して取り組む必要もあるかと思えます。

11月は環境整備など、行事を立て続きに計画してしまいました・・・。本年の活動のめともなりますので、会員のみなさまのご協力をお願いします。

発行者：北信濃の里山を保全活用する会 会長 井田秀行
事務局：〒389-2253 飯山市大字飯山1 4 3 6 - 1
飯山市公民館内
TEL：0269-62-3342 FAX：0269-62-5940
E-mail：kouminkan@city.iiyama.nagano.jp
編集者・事務局長：福本匡志